2025 年度 海外出版助成申請要項

公益財団法人 サントリー文化財団

1. 助成の目的

海外出版助成は、海外における日本理解を促進するために、以下の通り英語をはじめとする外国語への翻訳、編集、出版費を助成の対象とする。

A. 日本語で書かれた優れた研究業績を国際的に発信するもの。

B. 日本について書かれた書籍で、海外における日本理解に資するもの。

2. 助成内容

助成は申請図書の翻訳費及び出版費に対して行われます。**申請額の上限は図書制作にかかる総費用の 2 分の1かつ 100 万円とします。**

ただし、**英語への翻訳出版**はそのコストに鑑み、総費用の **3 分の 2 かつ 200 万円**を上限とします。

（英語での書き下ろしの場合の上限は総費用の **2 分の1**かつ **100 万円**です。）

例: 総費用 240 万円の英語への翻訳出版の上限は 160 万円
総費用 240 万円の英語での書下ろし出版の上限は 100 万円

3. 対象となる図書

- 対象は原則として、人文学、社会科学の分野において日本語で書かれた優れた研究業績、あるいは日本について書かれたもので、助成を受けることによって翻訳・出版の道がひらかれる作品とします。
- 日本語以外での出版であれば何語によるものでも構いません。
- 本年度の選考対象は、**2026 年 4 月から 2028 年 3 月末日**までの間に出版予定のものとします。
- 信頼しうる出版社との取り決め・第三者の推薦等、質の高い翻訳および出版物であることの保証が必要です。
- シリーズものの図書については、各々1冊ずつ申請を行って下さい。

＊ただし、次のものは助成の対象とはなりませんので、ご注意下さい。

①自然科学分野のもの
②過去に出版された翻訳書の改訳
③過去に出版された出版物の再版
④雑誌、観光案内、パンフレットの類
⑤商業的に十分採算がとれると思われるもの
⑥信頼しうる出版社との出版契約がなされていないもの
⑦有償、無償にかかわらず、確実な配布計画を持たない出版物

4. 選考方法

選考は当財団の選考委員会において行われ、理事会において決定いたします。

5. 助成金の交付

助成金の交付は、原則として助成の決定した申請図書が完成し、それを当財団にお送りいただいた後、行います。まず助成金の 8 割を振り込み、残り 2 割は出版から一年後に当財団所定の形式の報告書を提出いただいた後、振り込みます。

6. 進捗状況等の報告

① 本助成の円滑な達成を図るため、助成対象者に対して、適宜、進捗状況の報告を求めることがあります。

② 助成を受けた図書のしかるべき箇所に、**公益財団法人サントリー文化財団の助成を受けた旨を明記**して下さい。

③ 助成を受けた図書が出版された際には資料として**該当図書 5 冊**を当財団へ寄贈して下さい。

以上

海外出版助成申請にあたって

公益財団法人 サントリー文化財団

1. 申請書記入等について

① **申請は当財団海外出版助成の指定申請書（全4ページ）を用いて下さい。**

② 申請書は可能な限り手書きを避け、ワープロソフトでご記入下さい。ウェブサイトに掲載している申請書（ワードファイル）を使用いただく場合や、ご自身でのフォーマットを作成する場合も、**記入項目、様式、ページ数を変更しないで、必ず枠内にご記入下さい。**

③ **申請書は日本語または英語でご記入下さい。その他の言語では申請を受け付けません。**

④ **申請額は、日本円でご記入下さい。助成額は、日本円にて決定いたします。**

⑤ 図書制作にかかる総費用とは、印刷・製本費、用紙代、原稿の編集・校閲費、翻訳費等の合計とし、原則として次のものは含みません。

(1) 広告・宣伝費
(2) 販売・営業費
(3) 通信・備品費
(4) 調査・渡航費
(5) 組織の運営・管理費

⑥ 助成申請額については、その使途および明細、または**申請額の根拠を必ず明記して下さい。**

⑦ 本助成の申請に際して、他の機関からの助成を受けていても構いませんが、その場合はその内容（助成決定額または申請額、助成機関名、助成決定時期または決定予定時期等）を全て申請書の該当欄にご記入下さい。

⑧ 申請書提出後または助成決定後に、申請図書の内容、体裁、価格および図書制作にかかる総費用等に、何らかの変更が生じた場合には、速やかに当財団事務局までご連絡下さい。変更のご連絡がなく図書が出版された場合は、助成決定が取り消されることがありますのでご注意下さい。

⑨ 日本国外の住所は英語でご記入下さい。

⑩ ホッチキスどめはしないでください。

2. 添付書類

申請に際しては、申請書に必ず次の書類を添付して下さい。**添付書類の原本が日本語、英語以外の場合は必ず翻訳を添えてください。**添付書類に不備がある場合は、選考対象となりません。また、提出された申請書および添付書類は、原則として返却しませんのでご了承下さい。

① 内容についての具体的な説明、趣旨、その言語で出版する意義をまとめた文書（A4 サイズ1枚）

② 申請図書が確実に出版されることを保証する旨の、出版社との取り決め等の正式文書（コピーでも可、出版社のレターヘッド使用が望ましい）

③ 申請図書制作にかかる総費用を確認するための見積明細書（印刷・製本会社もしくは出版社発行のもので、印刷費・製本費・用紙代など項目別明細の記載されたもの）

＊翻訳費のみを申請される方へ：助成金の使途が翻訳費のみの場合でも、総費用に出版にかかる費用（印刷、製本、用紙、編集・校閲費等）も含めることが可能です。ただし、必ず見積もりを添付ください。（印刷、製本、用紙、編集・校閲費等の見積もりがない場合は、翻訳費用のみを総費用として助成金額を決定します。）

④ 翻訳出版の場合…日本語の原著（コピーによる目次、序章などの抜粋でも可）
日本語以外での書き下ろしの場合…目次
共著の場合…執筆者リスト

⑤ 第三者からの推薦書または意見書（A4 サイズ 1 枚）

3. 助成金の交付に関する注意

助成金の支払いは、原則として日本国内の場合は日本円で行います。海外へ送金する場合の通貨は米ドルあるいはユーロからお選びいただきます。日本円との交換レートは、当財団による助成金交付手続き時の交換レートによります。

4. 申請締切

2025 年 11 月 28 日（金）　当日消印有効

全ての書類を簡易書留（海外からの場合はそれに準ずるもの）にて郵送及び、申請書（PDF ファイル）はE-mail でも送付のこと。

＊E-mail の件名は「2025 海外出版助成申請」としてください。

＊申請書の受領連絡はしませんのでご了承ください。

＜送付先＞

〒530-8204 大阪市北区堂島2－1－5　サントリーアネックス 9 階

公益財団法人サントリー文化財団　海外出版助成係

sfnd@suntory-foundation.or.jp

5. 助成の決定

2026 年 3 月の予定。

・ 助成の決定は、文書にて通知いたします。

・ 助成採択者は申請図書出版までのスケジュールを速やかにご連絡下さい。連絡がない場合は、助成決定が取り消されることがあります。

＊採否の理由に関するお問い合わせにはご回答しかねます。ご了承ください。

以上

2025 年度　サントリー文化財団
「海外出版助成」申請書

公益財団法人サントリー文化財団
理事長　鳥 井　信 吾 殿　　2025 年　　月　　日

申請者 氏名	フリガナ	歳
所属機関 ・職名		

私は、貴財団作成の申請要項記載事項に同意して、下記のとおり申請します。

記

申請図書タイトル	外国語	申請図書で使用する言語：
	日本語	
出版社		出版予定 年　　月

助成申請額 ２ページ目(a)	万円
総費用 ２ページ目(ｂ)	万円

申請額の上限は総費用の 2 分の 1 かつ 100 万円です。ただし、英語への翻訳出版の場合は、総費用の 3 分の 2 かつ 200 万円が上限です。

１．著者または編者

氏名	フリガナ
所属機関 ・役職	
経歴：	

２．申請図書出版の意義

3．出版計画

出版予定形態	□ハードカバー
	□ペーパーバック
	□電子書籍
	□その他（　　）
予定発行部数	
予定ページ数	
予定価格	
原稿（翻訳）完了時期	
出版予定時期	
著作権処理状況	
配布計画 ＊電子書籍の場合は販売を予定する電子書籍ストアなど、公開方法を明記ください。	

4．図書制作にかかる総費用と助成申請額

		換算レート	通貨単位
助成申請額(a)	万円	1＿＿＿＿＝　　円	
助成金の使途または助成申請額の根拠（広告･営業費等は除く）			
明細（広告･営業費等は除く） ＊印刷費 ＊製本費 ＊用紙代 ＊編集･校閲費 ＊翻訳費 ＊その他（詳細明記）			
図書制作の総費用（b）	万円		

５．他機関からの助成

機関名	
助成決定時期	
助成申請額＊　（万円）	

＊助成決定済みの場合は決定額

６．出版社

社名	
代表者名	
担当者名	
住所	
ＴＥＬ	
e-mail	
年間刊行点数＊	
年間売り上げ	
主たる取り扱い分野など	

＊日本の出版社の場合は、外国語の年間刊行点数および本申請図書で使用する言語の年間刊行点数も記入。

７．翻訳者

氏名	
フリガナ	
所属機関・役職	
年齢	
経歴	
主な翻訳	

８．申請者

<table>
<tr><td rowspan="5">連絡先</td><td rowspan="2">所属機関</td><td colspan="2">〒</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>FAX</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自宅</td><td colspan="2">〒</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>携帯</td></tr>
<tr><td colspan="3">郵便物送付先は、□所属機関　/ □自宅　を希望
（いずれかに レ、または不要な方を削除）</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">経歴</td></tr>
</table>

チェックリスト

□内容についての具体的な説明・趣旨、その言語で出版する意義をまとめた文書（A4 サイズ 1 枚）

□助成を得た場合に、申請図書が確実に出版されることを保証する旨の、出版社との取り決め
（コピーでも可、出版社のレターヘッド使用が望ましい）
※必要に応じて翻訳も添付

□申請図書制作にかかる総費用の見積明細書
※必要に応じて翻訳も添付

□翻訳出版の場合：日本語の原著（コピーによる目次、序章などの抜粋でも可）
□日本語以外での書き下ろしの場合：目次
□共著の場合：執筆者リスト

□第三者からの推薦書または意見書一通（A４サイズ１枚）

□申請書は **4 ページ以内**で作成

□全ての書類を簡易書留にて郵送及び、申請書（PDF ファイル）はＥ-mail でも送付

アンケート(任意)：本プログラムをどのように知りましたか？